

令和 7 年度

学 生 募 集 要 項

(特別選抜 (編入学入試))

令和 6 年 9 月

北 海 道 教 育 大 学

北海道教育大学教育学部教員養成課程の入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

（令和元年6月25日制定）
（令和2年5月21日改正）
（令和4年3月24日改正）
（令和4年6月17日改正）

（求める学生像）

教員養成課程では、子どもたちとのふれあいを大切にする豊かな人間性を育むことを第一として、現代の学校教育現場における様々な課題に対応できる幅広い教養と確かな学力を身に付け、地域社会に積極的に貢献できる教員の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 1 子どもが好きで、教員（養護教諭を含む。）となる強い意欲をもち、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を有している人
- 2 教育に関する専門性を身に付けるために必要な、基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を有している人
- 3 学校と地域社会との関わりに関心があり、地域を支える人や地域の文化・自然等に興味をもち、将来教員として地域社会の教育と文化の伝達・創造に貢献しようとする人
- 4 現代的な教育課題に興味・関心があり、教科を超えた総合的・学際的な教育に意欲をもつ人

また、教員養成課程に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 高等学校等において履修した教科の基礎的学力
- 2 自らが専攻しようとする教科等に関わる知識・技能、思考力・判断力・表現力等
- 3 上記1及び2を通して、学校と地域社会との関わりや現代的な教育課題への関心を深めるとともに、主体性をもち、多様な価値観や考えをもつ人々と協働して学ぶ態度

（入学受入の基本方針）

教員養成課程の入学受入は、求める学生像に合致する入学受入者を選抜するため、以下の方法等により実施します。また、入学受入者に求める具体的な学習成果（学力の3要素）及び教職に就く意欲については、入試区分ごとに別表1のようになります。

【一般選抜・前期日程】

一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識並びに思考力、判断力及び表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（教科試験（専攻・分野によっては、面接や実技）」の成績
- (2) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容
また、教職に就く意欲等については、「学びの履歴と志望理由書」の内容を加点して評価します。

【一般選抜・後期日程】

一般選抜・後期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識並びに思考力及び判断力を有していることについては、「大学入学共通テスト」の成績
- (2) 「表現能力（伝達表現能力）」、目的意識、入学後の勉学意欲、専攻に適した資質、教師としての基本的資質等を有していることについては、「面接」の結果
- (3) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

なお、教職に就く意欲等については、面接のための資料である「学びの履歴と志望理由書」の内容を参考に評価します。

【学校推薦型選抜（一般）】

学校推薦型選抜（一般）については、以下の面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 教員となる強い意欲、将来教員として地域の教育・文化に貢献しようとする姿勢及び豊かな人間関係を築くことができ、高いコミュニケーション能力を有していることについては、「面接」の結果

(2) 一定の学力を備えていることや学習成果（学力の3要素）等全般については、出身高等学校長の「推薦書」，「自己推薦書」，「調査書」等の提出書類の内容

また、大学において専門分野を学ぶための十分な技能及び表現力を有していることについては、専攻又は分野により「実技」を含めて判定します。

なお、高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識を確認するため、「大学入学共通テスト」の受験を課します。

【学校推薦型選抜（地域指定：釧路校）】

学校推薦型選抜（地域指定：釧路校）については、以下の面接の結果，提出書類の内容等により，総合して判定します。

（北海道日高振興局，宗谷総合振興局，オホーツク総合振興局，十勝総合振興局，釧路総合振興局，根室振興局管内の高等学校等の卒業見込みの者が選抜対象）

(1) へき地・小規模校教育等に高い関心及び強い意欲，将来教員として上記振興局管内に定着する意思並びに豊かな人間関係を築くための高いコミュニケーション能力を有していることについては、「個人面接」及び「集団面接（討論）」の結果

(2) 一定の学力を備えていることや学習成果（学力の3要素）等全般については、出身高等学校長の「推薦書」，「自己推薦書」，「調査書」等の提出書類の内容

なお、高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識を確認するため、「大学入学共通テスト」の受験を課します。

【総合型選抜（教員養成特別入試）】

総合型選抜（教員養成特別入試）については、単なる知識量だけではなく、思考力，判断力，表現力，主体性，協働性など，筆記試験だけでは測定できない側面，これまでの活動，学習の成果等も含めて，総合的な能力を以下の検査等により総合して判定します。

(1) 第一次検査

学習成果（学力の3要素）等全般，教職に就く意欲等については、「調査書」及び「志望理由書」により評価します。

(2) 第二次検査

教職を目指す上で必要な思考力，判断力，主体性及び協働性については、「講義」を受講し，それに基づく「グループ討論」及び「レポート作成」により評価します。くわえて，教員への興味・関心及び教職への志望意欲について，「面接」により評価します。

(3) 大学入学共通テスト

高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識並びに思考力及び判断力を有していることについては、「大学入学共通テスト」により評価します。

なお、大学において専門分野を学ぶための十分な技能及び表現力を有していることについては、専攻又は分野により第二次検査で「実技」を含めて評価します。

【特別選抜（帰国子女入試）】

外国で学校教育を受け，異なった教育制度，社会，文化等に接した学生を受け入れることは，それ自体が国際化の一環となるとともに，一般学生に対しても多様な文化的刺激を与え，国際感覚を豊かにする機会となります。このような趣旨により，帰国子女に対して「大学入学共通テスト」を免除する特別選抜を行っています。

【特別選抜（社会人入試）】

経験を積んだ社会人が教員を目指したり大学での学問研究を通じて新たな可能性を発見したりするため，「大学入学共通テスト」を免除する特別選抜を行っています。

【特別選抜（私費外国人入試）】

国際化時代の進展とともに，外国人留学生の受入れは，大学にとってますます重要な課題となっています。特にアジア諸国からの留学希望者は，飛躍的に増加しています。こうした要請に応えるため，私費外国人留学生に対して，「大学入学共通テスト」を免除する特別選抜を行っています。

【特別選抜（編入学入試）】

短期大学卒業者，高等専門学校卒業者，大学卒業者及び大学在学者を対象として，編入学試験を実施しています。

附 記
この方針は、令和4年6月17日から施行する。

入学者選抜方法と学力の3要素等に関する対応表

【教員養成課程（札幌校，旭川校，釧路校）】

学力の 3要素	A：知識・技能
	B：思考力・判断力・表現力
	C：主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度

○：重点的に評価する項目

◇：総合的に評価する資料

入試 区分	入学選抜方法	教 職 に 就 意 欲	学力の3要素			備 考	
			A	B	C		
一 般 選 抜	前期 日程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目	
		個別学力検査		○	○		
		学びの履歴と志望理由書※	○				
		調査書※		◇	◇	◇	
		(実技)		○	○		
	後期 日程	(面接（口頭試問含む。）)	○	○	○	○	
		(実技に関する活動歴調査書) ※		◇			
		大学入学共通テスト		○	○		指定する教科・科目
		面接（口頭試問含む。）	○	○	○	○	札幌校，旭川校
		面接	○		○	○	釧路校
総 合 型 選 抜	学びの履歴と志望理由書※	◇					
	調査書※		◇	◇	◇		
	(実技検査)		○	○			
	(実技に関する活動歴調査書) ※		◇				
	大学入学共通テスト		○	○		指定する教科・科目	
	グループ討論		○	○	○		
	レポート			○	○		
	面接（口頭試問含む。）	○	○	○	○	旭川校	
面接	○		○	○	札幌校，釧路校		
学 校 推 薦 型 選 抜	志望理由書※	◇		◇	◇		
	調査書※		◇	◇	◇		
	(実技検査)		○	○			
	(実技に関する活動歴調査書) ※		◇				
	大学入学共通テスト					指定する教科・科目を受験することが要件	
	面接（口頭試問含む。）	○	○	○	○	札幌校，旭川校	
	面接	○		○	○	釧路校	
	推薦書※	◇	◇	◇	◇		
自己推薦書※	◇		◇	◇			
学 校 推 薦 型 選 抜	調査書※		◇	◇	◇		
	(実技検査)		○	○			
	(集団面接（討論）)			○	○		
	(実技に関する活動歴調査書) ※		◇				

(注) ※は，提出書類を示す。

() は，特定の分野等が行う選抜方法を示す。

北海道教育大学教育学部国際地域学科の入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

（令和元年6月25日制定）

（令和2年5月21日改正）

（令和4年3月24日改正）

（求める学生像）

国際地域学科では、国際的な幅広い視野をもって、身近な地域を活性化・再生できる人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

○地域協働専攻

- 1 国際的視野に立った幅広い教養、豊かな人間性を身に付けようとする意欲のある人
- 2 地域学の基礎的知識とそれを構成する学問領域に関する専門的知識を身に付けようとする意欲がある人
- 3 地域学的問題を俯瞰的に捉え、国際的視野をもって考える態度を身に付けようとする意欲がある人
- 4 地域の活性化・再生に、主体的に行動し取り組む姿勢を身に付けようとする意欲がある人
- 5 地域社会の課題の調査・研究方法と、その成果を国際的視野をもって他者に伝えるコミュニケーションの能力と方法を身に付けようとする意欲がある人
- 6 大学での学修に必要なバランスの取れた学力並びに特定の教科に偏らない理解力、思考力及び表現力を有している人又は外国語等の特定科目に優れた学力を有している人

また、地域協働専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 高等学校等において履修した教科等においてバランスの取れた基礎的な学力、理解力、思考力及び外国語の優れた知識・技能
- 2 地域学的問題を俯瞰的に捉え、国際的な視野をもって、主体的に地域の活性化・再生への関心を深めていく態度

○地域教育専攻

- 1 国際的視野に立った幅広い教養、豊かな人間性を身に付けようとする意欲がある人
- 2 初等教育と特別支援教育に関する専門的知識と技能を身に付けようとする意欲がある人
- 3 子どもの教育問題を俯瞰的に捉え、国際的視野をもって考える態度を身に付けようとする意欲がある人
- 4 地域の教育課題を理解し、学校教育を通して課題解決に取り組む主体的姿勢を身に付けようとする意欲がある人
- 5 地域の教育課題を調査・研究し、その成果を国際的視野をもって他者に伝えるコミュニケーションの能力と方法を身に付けようとする意欲のある人
- 6 大学での学修に必要なバランスの取れた学力及び特定の教科に偏らない理解力・思考力・表現力を有している人

また、地域教育専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 高等学校等において履修した教科等においてバランスの取れた基礎的な学力、理解力、思考力等
- 2 子どもの教育問題を俯瞰的に捉え、国際的な視野をもって、主体的に地域の教育課題への関心を深めていく態度

（入学受入の基本方針）

国際地域学科の入学受入は、求める学生像に合致する入学受入者を選抜するため、以下の方法等により実施します。また、入学受入学生に求める具体的な学習成果（学力の3要素）及び専門分野を学ぶ意欲については、入試区分ごとに別表2のようになります。

○地域協働専攻

【一般選抜・前期日程】

一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識並びに思考力、判断力、表現力等を有していることについては、「大学入学共通テスト」の成績
- (2) 大学入学共通テストでは検出し難い理解力、思考力、表現力等を有していることについては、特定の教科に偏らない内容である「個別学力検査（総合問題）」の成績
- (3) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

【一般選抜・後期日程】

一般選抜・後期日程については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等の学力及び教育や関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識並びに思考力、判断力等を有していることについては、「大学入学共通テスト」の成績
- (2) 目的意識、入学後の学習意欲、専攻に適した資質等を有していることについては、「面接」の結果
- (3) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

【学校推薦型選抜（一般）】

学校推薦型選抜（一般）については、以下の面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 各グループにおいて、以下に示す能力の獲得に必要な十分な意欲、資質及び適正を備えていることについては、「面接」の結果

（国際協働グループ）

異なる国や民族・地域・文化・社会との間での協働的かつ現実的な国際協働の現場において必要となるグローバルな実践的課題解決能力

（地域政策グループ）

地域行政や「新しい公共」を担うNPO/NGO等諸集団、企業などとの多様なネットワークを構築する能力及び地域の課題解決に取り組む実行力

（地域環境科学グループ）

地域の環境問題解決のための科学・技術の役割を理解して、その方法論と技術を身に付けようとする態度、探究力及び批判的な思考力

- (2) 一定の学力を備えていることや学習成果（学力の3要素）等全般については、出身高等学校長の「推薦書」、 「自己推薦書」、 「調査書」等の提出書類

さらに、国際的な視野をもつために必要な語学力については、所定の外国語資格のスコア又は等級を保有する者を加点して評価します。

○地域教育専攻

【一般選抜・前期日程】

一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識並びに思考力、判断力、表現力等を有していることについては、「大学入学共通テスト」の成績
- (2) 「表現能力（伝達表現能力）」については、「個別学力検査（小論文）」の成績
- (3) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

【一般選抜・後期日程】

一般選抜・後期日程については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等の学力及び教育に関する専門性を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力、判断力、表現力等を有していることについては、「大学入学共通テスト」の成績
- (2) 目的意識、入学後の学習意欲、専攻に適した資質、教師としての基本的資質等を備えていることについては、「面接」の結果
- (3) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

なお、教職に就く意欲等については、面接のための資料である「学びの履歴と志望理由書」の内容を参考に評価します。

【学校推薦型選抜（一般）】

学校推薦型選抜（一般）については、以下の面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 子どもの教育問題について国際的視野をもって考え、地域の教育課題を理解し、学校教育を通して課題解決に取り組む姿勢を身に付けようとする意欲を有していることについては、「面接」の結果
- (2) 一定の学力を備えていることや学習成果（学力の 3 要素）等全般については、出身高等学校長の「推薦書」、 「自己推薦書」、 「調査書」等の提出書類

また、国際的な視野を持つために必要な語学力については、所定の外国語資格のスコア又は等級を保有する者を加点して評価します。

※特別選抜（帰国子女入試，社会人入試，編入学入試）については、教員養成課程と同様の方法等により実施しています。

附 記

この方針は、令和4年4月1日から施行する。

入学者選抜方法と学力の3要素等に関する対応表

【国際地域学科（函館校）】

学力の 3要素	A：知識・技能
	B：思考力・判断力・表現力
	C：主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度

○：重点的に評価する項目

◇：総合的に評価する資料

入試 区分	入学選抜方法	専門分野を 学ぶ意欲	学力の3要素			備 考	
			A	B	C		
一 般 選 抜	前期 日程	大学入学共通テスト		○	○		指定する教科・科目
		個別学力検査		○	○		
		調査書*		◇	◇	◇	
	後 期 日 程	大学入学共通テスト		○	○		指定する教科・科目
		面接（口頭試問含む。）	○	○	○	○	地域教育専攻
		面接	○		○	○	地域協働専攻
		学びの履歴と志望理由書**	◇				地域教育専攻
		調査書*		◇	◇	◇	
	学 校 推 薦 型 選 抜	面接	○		○	○	
推薦書*		◇	◇	◇	◇		
自己推薦書*		◇		◇	◇		
調査書*			◇	◇	◇		
英語検定等の証明書*			○				

(注) ※は、提出書類を示す。

北海道教育大学教育学部芸術・スポーツ文化学科の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

（令和元年6月25日制定）

（令和2年5月21日改正）

（令和4年3月24日改正）

（求める学生像）

芸術・スポーツ文化学科では、芸術・スポーツ文化を多面的に追究し、地域の活性化及び文化振興に貢献できる人材の養成を目指していることから、「芸術文化、スポーツ文化がもつ多面的な価値を追究し、その効用を様々な文化活動を通して、人々の生活に還元し、地域の活性化や心豊かな生活環境の創造に関わろうとする人」を求めます。

○芸術・スポーツビジネス専攻

芸術・スポーツビジネス専攻では、芸術・スポーツ文化を生かしたマネジメントの知識や組織の運営に関する実践的な能力を有し、芸術・スポーツを通じた地域活性化やまちづくりに貢献するとともに、新しい文化ビジネスを創造できる人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 1 芸術・スポーツのビジネス研究を通じて、芸術・スポーツ文化振興に貢献することを目指す人
- 2 芸術・スポーツ活動の企画や運営などを創造的に展開できる資質をもつ人
- 3 国際的な芸術・スポーツビジネスへの関心をもち、柔軟性と協調性を備えた高いコミュニケーション能力を有する人

また、芸術・スポーツビジネス専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 社会及び地域における課題への関心並びにそれらの課題を解決するための論理的思考力
- 2 芸術・スポーツビジネスに関する知識を主体的に学ぶ態度

○音楽文化専攻

音楽文化専攻では、音楽文化による地域の活性化を促すことができるとともに、音楽に関する専門的な知識、技法及び技能をもち、自らの創作活動を発信し、音楽文化を地域社会に広める人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 1 音楽文化全般を深く愛する熱意のある人
- 2 人の心に音楽のメッセージを届けることについて、積極的に展開したいと思う人
- 3 演奏や創作などの音楽活動を展開できる優れた資質をもつ人

また、音楽文化専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 高等学校等において履修した音楽の授業内容に関わる知識・技能、思考力・判断力・表現力等
- 2 専門性の高い授業内容に適応できる基礎的な音楽の知識及び演奏能力並びに主体性をもって学ぶ態度

○美術文化専攻

美術文化専攻では、美術文化を地域社会に広め、美術による地域の活性化を促すことができ、表現者としても美術に関する深い造詣、確かな技術・諸問題を切り拓く構想力を有する人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 1 美術文化に対する関心や探究心を有し、基礎的な造形能力や探究心に富む人
- 2 美術に関するあらゆる事柄について研究を重ね、社会と芸術文化の新しい関わり方を提案・実践することに意欲的な人
- 3 美術に関する専門知識、高い技能や表現力を身に付け、社会をリードする指導者となることを目指す人

また、美術文化専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 高等学校等において履修した美術科の授業内容に関わる知識・技能、思考力・判断力・表現力等
- 2 専門性の高い授業内容に適応できる基礎的な美術の知識及び実技能並びに主体性をもって学ぶ態度

○スポーツ文化専攻

スポーツ文化専攻では、スポーツ文化を地域社会に広め、スポーツによる地域の活性化を促すことができるとともに、スポーツに関する科学的知識、技能を有し、スポーツ指導ができる人材の養成を目指しています。したがって、次のような人を求めます。

- 1 スポーツ文化への関心や探究心を持ち、基礎的な体力・運動能力を有し、それらの向上を目指す人
- 2 スポーツ競技能力の向上や指導力育成、そして、運動・スポーツの科学的探究を通じて文化創造に貢献することを目指す人
- 3 野外環境教育を通じて、自然と人間の関係を理解し、その良好な在り方の探究・実現に向けて行動することを目指す人

また、スポーツ文化専攻に入学する前までに身に付けておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- 1 高等学校等において履修した保健体育科の授業内容に関わる知識・技能、思考力・判断力・表現力等
- 2 スポーツ・コーチング科学コースにおいては、専門性の高い授業内容に適応できる基礎的なスポーツの知識及び技能
アウトドア・ライフコースにおいては、自然と人の関係や環境をめぐる諸問題についての基礎的な知識及び多様な価値観
- 3 上記1及び2に基づいた思考力並びに主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度

(入学者選抜の基本方針)

芸術・スポーツ文化学科の入学者選抜は、求める学生像に合致する入学者を選抜するため、以下の方法等により実施します。また、受入学生に求める具体的な学習成果（学力の3要素）及び専門分野を学ぶ意欲については、入試区分ごとに別表3のようになります。

○芸術・スポーツビジネス専攻

【一般選抜・前期日程】

一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、芸術・スポーツビジネス分野における専門的知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」の成績
- (2) 社会及び地域における芸術・スポーツのビジネス研究並びに文化振興への関心度、創造性及び企画・運営に必要な問題発見・課題解決能力（発想・思考・情報活用・判断・表現・言語・構成）については、「個別学力検査等（実技）」の成績
- (3) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「面接」の結果及び「調査書」の内容

【一般選抜・後期日程】

一般選抜・後期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、芸術・スポーツビジネス分野における専門的知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」の成績
- (2) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「面接」の結果、「調査書」及び「活動実績書」の内容

【総合型選抜（自己推薦入試）】

総合型選抜（自己推薦入試）については、以下の面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 大学で芸術・スポーツビジネスを学ぶためにグローバルな視点及び計画性、新たな価値を生む創造性並びに表現力を有していることについては、「面接」の結果
- (2) 芸術・スポーツビジネスを学ぶための計画性及び意欲については、「調査書」、「自己推薦書」及び「学修計画書」の内容

○音楽文化専攻

【一般選抜・前期日程】

一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、音楽の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技）」の成績
- (2) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

【一般選抜・後期日程】

一般選抜・後期日程については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、音楽の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技）」の成績
- (2) 目的意識、入学後の勉学意欲、専攻に適した資質等については、「面接」の結果
- (3) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

【学校推薦型選抜（一般）】

学校推薦型選抜（一般）については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 大学で音楽を専門に学ぶために十分な技能及び表現力を有していることについては、「実技」の成績
- (2) 音楽を専門的に学ぶにふさわしい主体性をもって学ぶ態度並びに豊かな人間関係を築くことができる協働性及びコミュニケーション能力を有していることについては、「面接」の結果
- (3) 一定の学力を備えていることや学習成果（学力の3要素）等全般については、出身高等学校長の「推薦書」、「自己推薦書」及び「調査書」の内容

○美術文化専攻

【一般選抜・前期日程】

一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、美術の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技）」の成績
- (2) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

【一般選抜・後期日程】

一般選抜・後期日程については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、美術の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技）」の成績
- (2) 目的意識、入学後の勉学意欲、専攻に適した資質等については、「面接」の結果
- (3) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「調査書」の内容

【総合型選抜（自己推薦入試）】

総合型選抜（自己推薦入試）については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 大学で美術を専門に学ぶために十分な技能及び表現力を有していることについては、「実技」又は「小論文」の成績
- (2) 美術を専門的に学ぶにふさわしい主体性をもって学ぶ態度並びに豊かな人間関係を築くことができる協働性及びコミュニケーション能力を有していることについては、「自己推薦書」の内容及び「面接」の結果
- (3) 一定の学力を備えていることや学習成果（学力の3要素）等全般については、「ポートフォリオ」及び「調査書」の内容

○スポーツ文化専攻

【一般選抜・前期日程】

一般選抜・前期日程については、以下の成績、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、スポーツ文化の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技及び小論文）」の成績
- (2) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「面接」の結果及び「調査書」の内容

【一般選抜・後期日程】

一般選抜・後期日程については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) 高等学校等において履修した教科等に求められる基礎的知識及び思考力に加え、スポーツ文化の専門的な知識及び技能を身に付けるために必要な基礎的知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「大学入学共通テスト」及び「個別学力検査等（実技及び面接）」の成績
- (2) 学習成果（学力の3要素）等全般については、「面接」の結果及び「調査書」の内容

【総合型選抜（自己推薦入試）】

総合型選抜（自己推薦入試）については、以下の成績、面接の結果、提出書類の内容等により、総合して判定します。

- (1) スポーツ文化を専門に学ぶために必要な知識及び思考力・判断力・表現力を有していることについては、「小論文」の成績、「面接（口頭試問含む）」の結果
- (2) スポーツ文化を専門に学ぶための意欲や技能及び表現力を有していることについては、「自己推薦書」及び各種「活動歴」の内容
- (3) スポーツ文化を専門に学ぶためにふさわしい主体的な態度及び豊かな人間関係を築くことができる協働性やコミュニケーション能力を有していることについては、「面接（口頭試問含む）」の結果

※特別選抜（帰国子女入試，社会人入試，編入学入試）については、教員養成課程と同様の方法等により実施しています。

附 記

この方針は、令和4年4月1日から施行する。

入学者選抜方法と学力の3要素等に関する対応表

【芸術・スポーツ文化学科 芸術・スポーツビジネス専攻（岩見沢校）】

学力の 3要素	A：知識・技能
	B：思考力・判断力・表現力
	C：主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

○：重点的に評価する項目 ◇：総合的に評価する資料

入試 区分	入学選抜方法	専門分野を 学ぶ意欲	学力の3要素			備 考	
			A	B	C		
一 般 選 抜	前期 日程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目	
		実技検査	○	○	○	◇	
		面接（口頭試問含む。）	○	○	○	○	
		調査書*		◇	◇	◇	
	後期 日程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目	
		面接（口頭試問含む。）	○	○	○	○	
		活動実績書*	○	○	○	○	
		調査書*		◇	◇	◇	
総 合 型 選 抜	面接（口頭試問含む。）	○	○	○	○		
	プレゼンテーション	○	○	○			
	自己推薦書*	○		○	◇		
	学修計画書*	○	○	○	○		
	調査書*		◇	◇	◇		

(注) ※ 提出書類を示す。

【芸術・スポーツ文化学科 音楽文化専攻（岩見沢校）】

学力の 3要素	A：知識・技能
	B：思考力・判断力・表現力
	C：主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

○：重点的に評価する項目 ◇：総合的に評価する資料

入試 区分	入学選抜方法	専門分野を 学ぶ意欲	学力の3要素			備 考
			A	B	C	
一 般 選 抜	前期 日程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目
		実技検査		○	○	
		調査書※		◇	◇	◇
	後 期 日 程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目
		実技検査		○	○	
		面接	○		○	○
調査書※		◇	◇	◇		
学 校 推 薦 型 選 抜	面接			○	○	
	実技検査		○	○		
	(作品審査)		○	○		作曲コース
	推薦書※	◇	◇	◇	◇	
	自己推薦書※	◇	◇	◇	◇	
調査書※		◇	◇	◇		

(注) ※ 提出書類を示す。

() は、特定のコースが行う選抜方法を示す。

【芸術・スポーツ文化学科 美術文化専攻（岩見沢校）】

学力の 3要素	A：知識・技能
	B：思考力・判断力・表現力
	C：主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

○：重点的に評価する項目 ◇：総合的に評価する資料

入試 区分	入学選抜方法	専門分野を 学ぶ意欲	学力の3要素			備 考
			A	B	C	
一 般 選 抜	前期 日程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目
		実技検査		○	○	
		調査書*		◇	◇	◇
	後期 日程	大学入学共通テスト		○	○	指定する教科・科目
		実技検査		○	○	
		面接	○		○	○
	調査書*		◇	◇	◇	
総 合 型 選 抜	実技検査又は小論文		○	○		
	面接（口頭試問含む。）	○	○	○	○	
	ポートフォリオ*	○	○	○		
	自己推薦書*	◇	◇	◇	◇	
	調査書*		◇	◇	◇	

(注) ※ 提出書類を示す。

【芸術・スポーツ文化学科 スポーツ文化専攻（岩見沢校）】

学力の 3要素	A：知識・技能
	B：思考力・判断力・表現力
	C：主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

○：重点的に評価する項目 ◇：総合的に評価する資料

入試 区分	入学選抜方法	専門分野を 学ぶ意欲	学力の3要素			備 考	
			A	B	C		
一 般 選 抜	前 期 日 程	大学入学共通テスト		○	○		指定する教科・科目
		実技検査		○	○		
		面接	○		○	○	
		(小論文)		○	○		アウトドア・ライフコース
		調査書*		◇	◇	◇	
	(自然体験活動，野外教育，環境教育， アウトドア活動に関する活動歴)*		◇			アウトドア・ライフコース	
	後 期 日 程	大学入学共通テスト		○	○		指定する教科・科目
		実技検査		○	○		
		面接	○	(○)	○	○	アウトドア・ライフコース： 口頭試問含む
		調査書*		◇	◇	◇	
(自然体験活動，野外教育，環境教育， アウトドア活動に関する活動歴)*			◇			アウトドア・ライフコース	
総 合 型 選 抜	小論文		○	○			
	面接（口頭試問含む。）	○	○	○	○		
	自己推薦書*	◇	◇	◇	◇		
	調査書*		◇	◇	◇		
	(スポーツに関する活動実績書)*		◇			スポーツ・コーチング科学コース	
	(自然体験活動，野外教育，環境教育， アウトドア活動に関する活動歴)*		◇			アウトドア・ライフコース	

(注) ※ 提出書類を示す。

() は、特定のコースが行う選抜方法を示す。

令和7年度 北海道教育大学編入学試験日程等一覧

選抜方法	出願受付期間	学力検査日等	合格発表日	入学手続期間
編入学	令和6年11月1日(金) ～11月8日(金)	令和6年11月23日(土) ～11月24日(日)	令和6年12月6日(金)	令和7年3月8日(土) ～3月15日(土)

入学試験及び入学料減免等に関する問い合わせ先

修学校	郵便番号	所在地	入学試験関係		入学料減免等関係	
			担当	電話番号	担当	電話番号
札幌校	002-8502	札幌市北区あいの里 5条3丁目1番5号	入試課	011-778-0274	学生支援課	011-778-0326
旭川校	070-8621	旭川市北門町9丁目	教育支援グループ	0166-59-1223	教育支援グループ	0166-59-1231
釧路校	085-8580	釧路市城山1丁目15番 55号	教育支援グループ	0154-44-3230	教育支援グループ	0154-44-3234
函館校	040-8567	函館市八幡町1番2号	教育支援グループ	0138-44-4370	教育支援グループ	0138-44-4237
岩見沢校	068-8642	岩見沢市緑が丘2丁目 34番地1	教育支援グループ	0126-32-1348	教育支援グループ	0126-32-0443

災害等による選抜方法等の変更について

この学生募集要項発行後、災害発生や治療法が確立していない感染症の拡大等に伴い、やむを得ず、試験日程や選抜方法等を変更する場合があります。

出願受付期間終了後、上記の変更を行う場合、志願者への個別連絡のほか、本学ホームページ「入試情報」(<https://www.hokkyodai.ac.jp/exam/>)で変更内容をお知らせしますので、最新の情報を確認するようご注意願います。



目 次

1	募集人員	1
2	出願資格	2
3	編入学の年次	2
4	編入学の時期	2
5	出願手続	2
6	障がいがある等の入学志願者の事前相談等	5
7	試験日・実施場所	5
8	受験上の注意	6
9	入学試験における不正行為について	6
10	選考方法	6
11	合格者の発表	6
12	入学手続	6
13	授業料	7
14	入学時における麻しん（はしか）・風しんワクチン接種歴等の確認について	7
15	受験に関する問い合わせ	8
16	個人情報の取扱いについて	8
17	選抜方法等一覧	
(1)	札幌校	9
(2)	旭川校	10
(3)	釧路校	11
(4)	函館校	12
(5)	岩見沢校	12
	令和6年度 北海道教育大学編入学試験実施状況	18
	北海道教育大学入学検定料の特別措置に関する規則	19
	「北海道教育大学基金」による奨学金について	20
	高等教育の修学支援制度（入学料・授業料の減免、給付奨学金）	20
	入学料・授業料の徴収猶予制度	20
	日本学生支援機構奨学金について（貸与奨学金）	21
	試験会場位置図	22

1 募集人員

学部・課程・学科・修学校等				募集人員		
教 育 学 部	教員養成課程	札幌校	特別支援教育専攻	—	若千人	
			言語・社会教育専攻	国語教育分野		若千人
				社会科教育分野		
				英語教育分野		
			生活創造教育専攻	総合技術教育分野		
		芸術体育教育専攻	保健体育教育分野			
		旭川校	教育発達専攻	—	若千人	
			国語教育専攻(※)	—		
			英語教育専攻	—		
			社会科教育専攻	—		
	数学教育専攻		—			
	理科教育専攻		—			
	釧路校	地域学校教育実践専攻	美術分野	若千人		
			保健体育分野			
			学校教育実践分野			
			発達教育実践分野			
			地域環境教育実践分野			
			国語教育実践分野			
			社会科教育実践分野			
			英語教育実践分野			
数学教育実践分野						
理科教育実践分野						
美術教育実践分野						
音楽教育実践分野						
家庭科教育実践分野						
国際地域学	函館校	地域協働専攻	国際協働グループ 地域環境科学グループ	若千人		
芸術・スポーツ文化学科	岩見沢校	芸術・スポーツビジネス専攻	—	若千人		
		音楽文化専攻	声楽コース			
			作曲コース			
			管弦打楽器コース			
美術文化専攻	油彩画／彫塑／書／日本画 ／木材工芸／メディアコン テンツ／アニメーション／ イラストレーション／映 像／アートマネジメント美 術／芸術学／美術教育分野					

(注) 1 上表にない専攻・分野・グループ・コースは募集しません。

2 選抜方法は、「17 選抜方法等一覧」9～17ページを参照してください。

3 専攻・分野によっては、卒業の要件となる免許状の学校種を選択できない場合があります。

4 教員養成課程においては、4年次終了までに副免許（主免許以外の免許）に必要な単位は修得できない場合があります。

※ 旭川校－国語教育専攻には、書道分野の募集人員（若干人）を含みます。

2 出願資格

次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 大学を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
- (3) 大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者又は令和7年3月までに修得見込みの者

3 編入学の年次

編入学の年次は、2年次又は3年次とします。

既修得単位の認定は、教育職員免許法及び本学の履修基準に基づき行います。

志願者の入学前の大学等において既に修得した授業科目・単位について、本学が認定する単位数の状況により、編入年次を決定します。

4 編入学の時期

令和7年4月1日

5 出願手続

インターネット出願サイト（以下「出願サイト」という）による出願及び出願書類の郵送（または持参）の両方が必要となります。出願サイトの出願手続き及び出願書類の郵送（または持参）の両方が完了しないと出願受付にはなりませんのでご注意ください。

○事前に準備が必要なもの

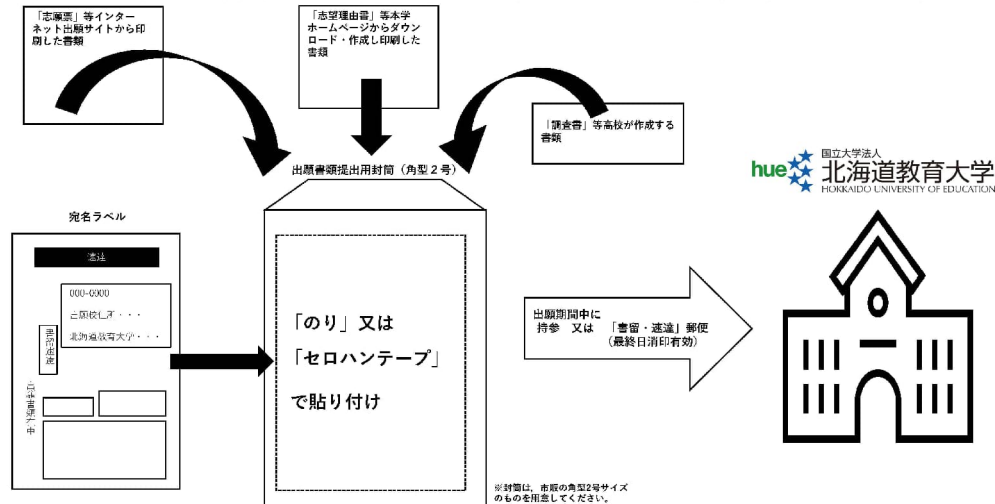
- ・メールアドレス（出願サイト登録用）
- ・提出用出願書類等出力環境（プリンターなど）

○インターネット出願登録開始（マイページへの登録等）

出願サイトURL (<https://e-apply.jp/ds/hokkyodai-net/>)



志願情報の登録、検定料等の支払後にマイページにログインして、「入学願書」「宛名ラベル」のPDFファイルをダウンロード及び印刷し、出願に必要な書類と併せて、以下の要領で提出してください。



(1) インターネット出願登録及び検定料等払込開始日
令和6年10月25日(金)午前10時00分～

(2) 出願受付期間

令和6年11月1日(金)～11月8日(金)

① 出願サイトでの出願

令和6年11月8日(金)午後11時59分までに出願を完了させてください。なお、ネットワークのトラブル等による出願の遅れには対応はできませんので、時間に余裕を持った出願をお勧めします。

② 出願書類の郵送・持参

郵送の場合は、速達・書留郵便とし、令和6年11月8日(金)の消印があるものまでを受け付けます。

なお、持参の場合の受付時間は、午前9時00分から午後5時00分までです。(土・日・祝日を除きます。)

(3) 出願書類及び入学検定料

出願に必要な書類等は、次のとおりです。

出 願 書 類	注 意 事 項
1 入学志願票・受験票 (本学所定様式)	出願サイトにて、必要事項入力後に生成される願書を印刷してください。(A4判片面印刷としてください)
2 志望理由書 (本学所定様式)	<p>本学ホームページ (https://www.hokkyodai.ac.jp/) から様式をダウンロードして、作成してください。</p> <p>なお、作成にあたっては、行数の変更等の様式の変更は行わず、「800字以内」で記入してください。</p>
3 出願資格を証明する書類等	<p>出願資格(1)又は(2)に該当する者(2ページ参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業証明書又は卒業見込証明書 ・成績証明書 <p>出願資格(3)に該当する者(2ページ参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在籍(在学)期間証明書 ・成績証明書 ・単位修得見込証明書又は履修登録状況が確認できる書類 <p>※ 成績証明書については、出身大学長等が作成し、修得単位が記載されているもので、かつ、厳封されたものを提出してください。</p>
4 入学検定料 【30,000円】	<p>出願サイトに表示される入学検定料決済画面に従い、手続きしてください。</p> <p>なお、主な納付方法は以下の決済方法となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①クレジットカード ②ネットバンキング ③コンビニエンスストア <p>決済に係る手数料は、振込者にてご負担ください。</p>
5 活動歴調査書 (本学所定様式) [岩見沢校]	<p>芸術・スポーツ文化学科－岩見沢校－芸術・スポーツビジネス専攻を志望する場合は、本学ホームページ (https://www.hokkyodai.ac.jp/) から様式をダウンロードして、芸術又はスポーツプロジェクトの企画・制作活動に関する活動調査書を提出してください。</p> <p>※ 入学志願票とともに提出してください。</p>
6 作品証明書 (本学所定様式) [岩見沢校]	<p>芸術・スポーツ文化学科－岩見沢校－美術文化専攻(アートマネジメント美術/芸術学/美術教育 分野を除く)を志望する場合は、本学ホームページ (https://www.hokkyodai.ac.jp/) から様式をダウンロードして、第三者が作成した作品証明書を提出してください。</p> <p>※ ※ 試験当日、作品とともに提出してください。</p>
7 実技検査選択票 (本学所定様式) [岩見沢校]	<p>芸術・スポーツ文化学科－岩見沢校－音楽文化専攻を志願する者は、出願サイトにて、必要事項入力後に生成される様式を印刷してください。(A4判片面印刷としてください)</p>
8 実技検査選択票 (本学所定様式) [札幌校]	<p>教員養成課程－札幌校－芸術体育教育専攻－保健体育教育分野を志願する者は、出願サイトにて、必要事項入力後に生成される様式を印刷してください。(A4判片面印刷としてください)</p> <p>実技検査の内容(10ページ)参照。</p>

(4) 出願受付及び問い合わせ先

修学校	郵便番号	所在地	担当	電話
札幌校	002-8502	札幌市北区あいの里5条3丁目1番5号	入試課	011-778-0274
旭川校	070-8621	旭川市北門町9丁目	教育支援グループ	0166-59-1223
釧路校	085-8580	釧路市城山1丁目15番55号	教育支援グループ	0154-44-3230
函館校	040-8567	函館市八幡町1番2号	教育支援グループ	0138-44-4370
岩見沢校	068-8642	岩見沢市緑が丘2丁目34番地1	教育支援グループ	0126-32-1348

(5) 出願に当たっての留意事項

- ア 出願書類に不備がある場合は、受理しないので注意してください。
- イ 受け付けた出願書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
ただし、入学検定料を納入したが、出願しなかった者には、入試課入学試験グループ（電話：011-778-0324）に申し出た場合に、返還します。
- ウ 出願後の入学志願票等の記載事項の変更は、認めません。
ただし、出願後、「住所・電話番号」等に変更があった場合は、直ちに「志望校の担当課・グループ」へ連絡してください。
- エ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。

(6) 受験票の取扱い

- ア **受験票の発行**
受験票は、**令和6年11月15日（金）午前9時00分**に出願サイトからダウンロードが可能となります。
受験票が令和6年11月15日（金）午後3時00分までに表示されなかったときは、「志望校の担当課・グループ」へ電話で問い合わせてください。
- イ **試験当日は、各自でA4判用紙に印刷した受験票を必ず持参してください。**

6 障がいがある等の入学志願者の事前相談等

障がいがある等の理由により、受験上及び修学上に不安を感じる、あるいは配慮を必要とする志願者に対して、事前相談を実施いたしますので、令和6年10月11日（金）までに「志望校の担当課・グループ」へお申し出ください。

また、事前相談の結果、さらに詳細な相談が必要となった場合には、原則として以下のイのように対応いたします。

- ア 事前相談
電話等で相談を承ります。その際、医師の診断書を提出していただく場合があります。
- イ 詳細な相談
本学において、本学職員と、志願者又はその立場を代弁し得る出身高等学校関係者等との間で、面談等を実施いたします。

なお、お申し出の受付、事前相談、詳細な相談は、適切な受験環境を整えるため、あるいは、入学後の修学環境を充実させるためのものであり、合否判定には一切影響いたしません。

7 試験日・実施場所

- 令和6年11月23日（土）札幌校（芸術体育教育専攻保健体育教育分野）、釧路校、
岩見沢校（芸術・スポーツビジネス専攻）
- 令和6年11月24日（日）札幌校、旭川校、函館校、
岩見沢校（音楽文化専攻及び美術文化専攻）

試験会場は、「試験会場位置図」（22ページ）を参照してください。

8 受験上の注意

- (1) 試験当日は、受験票、筆記用具及び指示されたものを持参して、**後日お知らせする所定の時刻までに集合**してください。
- (2) 試験開始後、30分以上遅刻したときは、受験を認めません。
- (3) 試験に関する具体的な注意事項については、志望校から指示します。

9 入学試験における不正行為について

本学のすべての入学試験において、以下の不正行為が確認されましたら、警察に被害届を提出する場合があります。

- ・受験票等に本人以外の写真を貼ることや解答用紙等に本人以外の氏名・受験番号を記入すること。
- ・カンニング（試験時間中、試験に関係するメモやコピー及び書籍類などを机上等に置いたり見たりすること、他の受験者の答案等を見ることや答えを教わるなど）
- ・他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ・配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- ・解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ・試験開始前、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ・試験時間中、試験監督から指示された物以外の所持品を出したり触っていること。
- ・試験時間中、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチ・スマートグラス）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。（ただし、これらの使用が認められている場合を除く。イヤホンは耳に装着していれば使用しているものとみなします。）
- ・試験終了時、試験監督から解答をやめるよう指示されたが、筆記用具を持っていたり解答を続けること。
- ・その他、入学試験の業務を妨げる行為を行うこと。

これら不正行為を行った受験生については、試験時間中に確認された場合はその時点から受験が取り止めとなり、当該入学試験の成績は無効となります。

また、試験終了後に確認された場合は選考の対象となりません。

10 選考方法

- (1) 各校の課程・学科・専攻・分野又はグループ・コースごとに選考を行います。
- (2) 選考方法は、課程・学科・専攻・分野又はグループ・コースごとに、「専門科目」、「小論文」、「実技検査」、「口述試験」及び「面接」の中から、指定した試験等の結果、出身（在学）学校の成績及び修得単位を総合して、可否の判定をします。
- (3) 選考方法等については、「17 選抜方法等一覧」（9～17ページ）を参照してください。

11 合格者の発表

令和6年12月6日（金） 午前9時00分

合格者の発表については、出願サイトにより本人に可否を通知します。また、合格者の受験番号を発表時刻以降に本学ホームページに掲載します。

北海道教育大学ホームページURL <https://www.hokkyodai.ac.jp/>

※ 本学のホームページが表示されましたら、ブラウザの更新ボタンを押してからご覧ください。可否について、電話等による問い合わせには応じません。

12 入学手続

合格者の入学手続きは、入学手続きシステム及び、一部の書類については、郵送又は持参により行います。なお、大学からの案内はすべて入学手続きシステムから行う予定です（大学から入学手続き書類の郵送はありません）。

入学手続の詳細（提出書類及び納入金の納入方法等）については、合格者へ別途お知らせします。

(1) 入学手続期間

令和7年3月8日(土)～令和7年3月15日(土) ※必着

入学手続きシステムで指示された方法で入学手続き・入学料の支払いを行い、併せて、必要な書類を「書留・速達」便により、入学手続期間内に必ず到着するよう、送付してください。

※ 持参の場合の受付時間は、午前9時00分から午後5時00分までです。(土・日を除く。)

(2) 納入金

入学料 282,000円

- (注) 1 上記の金額は、現行の金額であり、入学時に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。
- 2 入学料は、入学手続期間内に納入してください。
- 3 納入した入学料は、返還しません。
- 4 入学料については、減免及び徴収猶予の制度があります。詳細は、合格者あてに別途通知します。

(3) 留意事項

合格者が入学手続締切期日までに入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したのものとして取り扱います。

また、出願時に、大学に在学している者は、在学中の大学を退学する手続きをしたうえで、本学に入学手続きしてください。なお、現在本学のいずれかのキャンパスに在学している者が、別のキャンパスに編入学しようとする場合も同様です。

13 授業料

授業料 535,800円(年額)

- (注) 1 上記の金額は、現行の金額であり、入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。
- 2 授業料については、減免及び徴収猶予の制度があります。詳細は、合格者あてに別途通知します。

14 入学時における麻しん(はしか)・風しんワクチン接種歴等の確認について

合格となった場合、入学手続き時に、麻しん(はしか)・風しんのり患歴にかかわらず、過去に麻しん及び風しんのワクチンを、それぞれ2回以上接種していることを証明する書類の提出をお願いしています。

- (1) 2回のワクチン接種には、下記のような仕方があります。
- ・MR ワクチン2回
 - ・MR ワクチン1回、麻しんワクチン1回、風しんワクチン1回
 - ・麻しんワクチン2回、風しんワクチン2回
- ※MR ワクチンとは、麻しん風しん混合ワクチンです。
- (2) 接種を証明する書類には、下記のようなものがあります。
- ・ワクチン接種の年月日が記録された母子健康手帳のコピー
 - ・市町村又は医療機関が発行したワクチン接種証明書のコピー
 - ・明細にワクチン接種が記された医療機関の領収書等のコピー

上記に該当する書類の提出ができない場合などの手続きの詳細については、合格者に通知する入学手続き案内にてお知らせします。

15 受験に関する問い合わせ

受験に関する問い合わせは、必ず志願者本人が行ってください。目次の前ページにある問い合わせ先を参照してください。

16 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学は、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「個人情報保護に関する基本方針」及び「国立大学法人北海道教育大学個人情報等取扱規則」を定め、個人情報の保護に取り組んでいます。関係規則等につきましては、本学のホームページをご覧ください。
- (2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続き、④入学者選抜方法等に関する調査・研究業務、⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
なお、④に関し、調査・研究結果の発表を行う場合、個人が特定できないように処理します。
- (3) 入学者の個人情報は、入学後の①教務関係業務（学籍管理、修学指導等）、②学生支援関係業務（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。
- (4) 入学者の個人情報のうち、氏名、住所に限って、本学関係団体である①北海道教育大学札幌校教育後援会・同窓会、②北海道教育大学旭川校後援会・同窓会、③北海道教育大学釧路校後援会・同窓会、④北海道教育大学函館校尚学会・同窓会、⑤北海道教育大学岩見沢校後援会・同窓会からの連絡を行うために利用する場合があります。
- (5) 上記(2)、(3)及び(4)の業務を行うに当たっては、業務の全部又は一部を本学から外部の事業者へ委託することがあります。委託先に対しては、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部を提供します。

17 選抜方法等一覧

(1) 札幌校

ア 募集課程・学科，専攻，分野・グループ・コースの試験科目と試験時間割

試験日 令和6年11月23日（土）

課程・学科	修学校	専攻	分野・グループ・コース	試験科目・試験時間割
教員養成課程	札幌校	芸術体育教育専攻	保健体育教育分野	実技検査・口述試験 10：00～17：00

備考 口述試験については，受験者数により翌日の11月24日（日）に変更となる可能性があります。

試験日 令和6年11月24日（日）

課程・学科	修学校	専攻	分野・グループ・コース	試験科目・試験時間割
教員養成課程	札幌校	特別支援教育専攻		小論文 10：00～11：30 口述試験 13：00～
		言語・社会教育専攻	国語教育分野	専門科目 10：00～11：30 口述試験 13：00～
			社会科教育分野	専門科目 10：00～11：30 (記述問題・英文和訳(注1)) 口述試験 13：00～
			英語教育分野	専門科目 10：00～11：30 口述試験 13：00～
		生活創造教育専攻	総合技術教育分野	小論文 10：00～11：30 口述試験 13：00～

備考 1 口述試験では，専攻，分野に関する基礎的・専門的知識を問います。

2 口述試験については，志願者が多い場合等により，終了時刻が午後5時00分を過ぎることがあります。

(注1) 英和辞書(冊子体のみ) 持ち込み可

イ 実技検査の内容

(ア) 教員養成課程－芸術体育教育専攻－保健体育教育分野

以下の2領域からそれぞれ1種目（計2種目）を課す。

検 査 科 目			
領 域	種 目		実 施 方 法
器械運動 陸上競技	①マット運動 ②鉄棒 ③ハードル走		左記①～③より 1種目を選択
球 技	ゴール型	①バスケットボール ②サッカー	左記①～⑥より 1種目を選択
	ネット型	③バレーボール ④バドミントン ⑤硬式テニス	
	ベースボール型	⑥ソフトボール	

※ 全ての種目を体育館で実施する。運動ができる服装と体育館用シューズを準備すること。また、球技領域においてバドミントンと硬式テニスの選択者はラケット、ソフトボールの選択者はグラブを持参すること。

(2) 旭川校

ア 募集課程・学科，専攻，分野・グループ・コースの試験科目と試験時間割

試験日 令和6年11月24日（日）

課程・学科	修学校	専 攻	分野・グループ・コース	試験科目・試験時間割	
教員養成課程	旭川校	教育発達専攻		口述試験	9:00～
		国語教育専攻	書道分野以外	小論文 口述試験	9:00～10:30 11:00～
			書道分野	実技検査 口述試験	9:00～ 実技検査終了後
		英語教育専攻		口述試験	9:00～
		社会科教育専攻		口述試験	9:00～
		数学教育専攻		専門科目 口述試験	9:00～10:30 11:00～
		理科教育専攻		口述試験	9:00～
		芸術・保健体育教育専攻	美術分野	実技検査 口述試験	9:00～ 実技検査終了後
			保健体育分野	口述試験	9:00～

備考 1 口述試験では、専攻，分野に関する基礎的・専門的知識を問います。

2 志願者が多数の場合には、選考日時を変更する場合があります。

その場合は、対象となる志願者あてに文書で通知します。

3 口述試験，実技検査については、志願者が多い場合等により、終了時刻が午後5時00分を過ぎることがあります。

イ 実技検査の内容

(ア) 教員養成課程－国語教育専攻－書道分野

検 査 科 目
(1) 「楷書」, 「かな」の古典を半紙に臨書する。 (2) 「漢字かな交じりの書」を画仙紙半切2分の1に創作する。 (3) 「行書」の古典を画仙紙半切に臨書する。 持参用具 筆(大, 小), 硯, 墨, 墨液, 下敷き, 文鎮, 練習用半紙等 ※ なお, 検査に使用する用紙類は, 大学で用意します。

(イ) 教員養成課程－芸術・保健体育教育専攻－美術分野

検 査 科 目
実技検査は, 鉛筆による素描(3時間で行う)。モチーフは静物。 用紙の大きさは, おおよそ515mm×364mm。 ※鉛筆デッサン用具一式を持参すること。

(3) 釧路校

ア 募集課程・学科, 専攻, 分野・グループ・コースの試験科目と試験時間割 試験日 令和6年11月23日(土)

課程・学科	修学校	専 攻	分野・グループ・コース	試験科目・試験時間割
教員養成課程	釧路校	地域学校教育実践専攻	学校教育実践分野	口述試験 9:00～
			発達教育実践分野	
			地域環境教育実践分野	
			国語教育実践分野	
			社会科教育実践分野	
			英語教育実践分野	
			数学教育実践分野	
			理科教育実践分野	
			美術教育実践分野	
			音楽教育実践分野	
家庭科教育実践分野				

備考 口述試験では, 専攻, 分野に関する基礎的, 専門的知識及び教員の資質に関わる一般常識を問います。

(4) 函館校

ア 募集課程・学科，専攻，分野・グループ・コースの試験科目と試験時間割
試験日 令和6年11月24日（日）

課程・学科	修学校	専攻	分野・グループ・コース	試験科目・試験時間割
国際地域学科	函館校	地域協働専攻	国際協働グループ	小論文 10:00～11:30 口述試験 13:00～
			地域環境科学グループ	

- 備考 1 口述試験では，専攻，グループに関する基礎的・専門的知識等を問います。
2 口述試験については，志願者が多い場合等により，終了時刻が午後5時00分を過ぎることがあります。

(5) 岩見沢校

ア 募集課程・学科，専攻，分野・グループ・コースの試験科目と試験時間割
試験日 令和6年11月23日（土），11月24日（日）

課程・学科	修学校	専攻	分野・グループ・コース	試験科目・試験時間割
芸術・スポーツ 文化学科	岩見沢校	芸術・スポーツビジネス専攻		23日（土） 面接試験 9:00～ （口頭試問を含む。）
		音楽文化専攻	声楽コース	24日（日） 実技検査 10:00～ 面接 実技検査終了後
			作曲コース	
			管弦打楽器コース	
美術文化専攻	油彩画／彫塑／書／日本画／木材工芸／メディアコンテンツ／アニメーション／イラストレーション／映像分野	24日（日） 実技検査 9:00～14:00 面接 14:30～17:00 （作品審査及び口頭試問を含む。）		
	アートマネジメント美術／芸術学／美術教育分野	24日（日） 小論文 10:00～11:30 口述試験 13:00～17:00		

- 備考 1 口述試験では，専攻，コースに関する基礎的・専門的知識等を問います。
2 美術文化専攻の実技検査は，午前・午後と継続して行います。

イ 実技検査の内容
(ア) 音楽文化専攻

検 査 科 目
<p>1. ソルフェージュ (全員) 単旋律聴音 (8小節程度)</p> <p>2. 主実技 (次の(1)~(3)の中から一つのコースを選択すること。)</p> <p>(1) 声楽コース</p> <p>ア 課題曲</p> <p>下記に示す12曲の中から、任意の1曲を選択し、暗譜で歌唱すること。</p> <p>「イタリア歌曲」から</p> <p>Bel nune che adoro Cimarosa Il fervido desiderio Bellini Vaghiissima sembianza Donaudy L' ultimo bacio Tosti Sogno Tosti Tristezza Tosti</p> <p>「ドイツ歌曲」から</p> <p>Dein blaues Auge Brahms Auf Flügeln des Gesanges Mendelssohn Liebe dich so wie du mich Beethoven Frühlingsglaube Schubert Du bist wie eine Blume Schumann Nußbaum Schumann</p> <p>(注) 伴奏者は受験者が同伴のこと。調は任意とする。</p> <p>イ 自由曲</p> <p>上記に示した12曲以外の曲で、任意に選択した2曲を提出し、そのうち試験当日に1曲を指定、暗譜で歌唱すること。なお、一般的に曲集などでレチタティーヴォが含まれる曲、またダ・カーポ・アリアはカットしないこと。</p> <p>(注) 伴奏者は受験者が同伴のこと。また、試験監督の指示により演奏箇所を指定することができるが、志願者の評価に不利になるものではない。</p> <p>(2) 作曲コース</p> <p>ア 自作品の提出</p> <p>編成の異なるものを2~3曲、入学願書とともに提出すること。</p> <p>(注) ・作品の提出は製本された楽譜によるものとする。また、少なくとも1曲は音源または動画を添付すること (実際に演奏、録音されたものが望ましい。DTM音源は推奨されない)。 ・曲の編成、長さ、様式は問わない。 ・音源はmp 3, 映像はmp 4 でCD, DVDまたはUSBメモリに入れて提出すること。その際、表面に受験番号と作品名を記入すること。</p> <p>イ プレゼンテーションと口頭試問</p> <p>受験者は提出作品から任意に選択した1曲について15分程度のプレゼンテーションを行う。その後、試験官による口頭試問。</p> <p>(注) ・プレゼンテーションの対象とする提出楽譜の表紙に「プレゼンテーション対象作品」と朱書きすること。 ・プレゼンテーションの際に、必要な配付資料がある場合は、入学願書とともに1部を提出すること。試験当日、会場で音声・映像等再生機器の準備を希望する場合、必要とする設備 (再生メディア, 端子・規格等の種類) を実技検査選択票に記入すること。なお、大学設備で対応できるのは一般的な設備のみで、希望する設備全てを準備できるとは限らない。</p>

(3) 管弦打楽器コース

① 木管楽器・金管楽器

ア 音階 すべての管楽器は、譜例に従い長調全調から当日指定された調を暗譜で演奏すること。なお管楽器のアーティキュレーションは、スタカート、テヌート、レガートから当日指定する。(譜例は、13ページの譜例集①による。)

イ 自由曲 任意に選択した1曲を暗譜で演奏すること。(エチュードは除く。)

(注) ・試験監督の指示により演奏の途中で切ることがあるが、志願者の評価に不利になるものではない。

・同属の代替楽器での受験を認める場合がある。詳細は問い合わせること。

② 弦楽器

ア 音階 ヴァイオリンは、音階Carl Flesch : Scale Systemからニ長調第5番又はロ短調第5番のどちらかを当日指定する。指定された音階を暗譜で演奏すること。運弓法(ボーイング)は、ハ長調第5番に準ずること。ヴィオラ、チェロ、コントラバスは、#・b二つまでの長調、短調(和声的短音階)の音階を譜例に従い暗譜で演奏すること。調は当日指定する。

(譜例は14~15ページの譜例集②, ③, ④による。)

イ 自由曲 任意に選択した1曲を暗譜で演奏すること。(エチュードは除く。)

(注) ・試験監督の指示により演奏の途中で切ることがあるが、志願者の評価に不利になるものではない。

・ヴィオラ志願者はヴァイオリンで受験することができる。その場合は、志願票の楽器名はヴィオラと記載し、ア及びイの試験はヴァイオリンの課題曲を演奏する。

③ 打楽器(小太鼓, マリンバの中から一つを選択)

ア 基礎課題

・小太鼓: 基礎打ち 1 つ打ち, 2 つ打ち, 5 つ打ち, 7 つ打ち, 9 つ打ち, ロール打ち (pp << ff >> pp) の中から当日指定する。

・マリンバ: 長調全調の音階を譜例に従い、暗譜で演奏すること。調は当日指定する。(譜例は15ページの譜例集⑤による。)

イ 自由曲 任意に選択した1曲を暗譜で演奏すること。(エチュードは除く。)

(注) ・試験監督の指示により演奏の途中で切ることがあるが、志願者の評価に不利になるものではない。

・小太鼓は各自持参すること。ただし、マリンバ(4オクターブ)は、本学で楽器を用意する。

※①~③の主実技試験は、全て伴奏なしで行う。

《管楽器、弦楽器及び打楽器の譜例》

①木管楽器・金管楽器



初めから終わりまで一息で演奏すること。

ダイナミクス及びテンポは自由。

② ヴィオラ

♩ = 60~80

Two staves of music for Viola. The first staff contains measures 1-4, featuring a complex rhythmic pattern with many sixteenth notes and slurs. The second staff contains measures 5-8, featuring triplet patterns in both hands.

③ チェロ

♩ = 60~80

Two staves of music for Cello. The first staff contains measures 1-4, featuring a complex rhythmic pattern with many sixteenth notes and slurs. The second staff contains measures 5-8, featuring triplet patterns in both hands.

④ コントラバス

♩ = 50~60

Two staves of music for Double Bass. The first staff contains measures 1-4, featuring a complex rhythmic pattern with many sixteenth notes and slurs. The second staff contains measures 5-8, featuring a simpler rhythmic pattern with quarter notes and slurs.

⑤ マリンバ

♩ = 100~132

Two staves of music for Marimba. The first staff contains measures 1-4, featuring a complex rhythmic pattern with many sixteenth notes and slurs. The second staff contains measures 5-8, featuring a complex rhythmic pattern with many sixteenth notes and slurs.

(イ) 美術文化専攻

検 査 科 目		
分野	実技検査の内容	持参するもの
油彩画	着彩画	油彩絵具又はアクリル用具一式 第15号キャンバス
彫塑	塑造	筆記用具
書	古典の臨書及び創作	筆記用具，臨書及び創作用筆（大，小），半紙，画仙紙，墨，文鎮，硯，ラシャ（下敷き）
日本画	水彩画	水彩用具一式
木材工芸	立体造形	鉛筆デッサン用具一式
メディアコンテンツ	平面構成	筆記用具，定規，三角定規，コンパス，不透明水彩用具一式
アニメーション	想定デッサン	鉛筆デッサン用具一式
イラストレーション	構成デッサン	鉛筆デッサン用具一式
映像	映像メディア表現における構成・編集能力試験 （企画や絵コンテ等）	筆記用具（マーカー，色鉛筆など着色道具含む），定規

※ 美術文化専攻（アートマネジメント美術，芸術学，美術教育分野以外）の受験者は，面接の際に次のものを持参してください。

美術文化専攻

分 野	持参するもの及び注意事項
油彩画	1 自己の作品資料（著書，論文，作品写真等） 2 自己の作品 油彩100号程度の作品 3点以上
彫塑	1 自己の作品資料（著書，論文，作品写真等） 2 自己の作品 彫刻作品は，一人で移動可能なものに限る。
書	1 自己の作品資料（著書，論文，作品写真等） 2 自己の作品 書分野を受験する者は，原則として全紙大作品（臨書又は創作） 3点以上
日本画	1 自己の作品資料（著書，論文，作品写真等） 2 自己の作品 日本画50号程度の作品 5点以上
木材工芸	1 自己の作品資料（著書，論文，作品写真等） 2 自己の作品 分野に係る作品として，大きさは自由で3点以上
メディアコンテンツ	1 自己の作品資料（著書，論文，作品写真等） ポートフォリオにまとめたものを持参すること。 2 自己の作品 パーソナルコンピュータ上で動作する作品を持参する場合は，その動作する環境（ノートパソコン等）も持参すること。またその内容が分かる資料をポートフォリオに含めること。

アニメーション	<ol style="list-style-type: none"> 1 自己の作品資料（著書，論文，作品写真等） ポートフォリオにまとめたものを持参すること。 2 自己の作品 映像作品を持参する場合は，DVD方式で3分程度の完成作品，又は3分以内の短縮版とし，いずれも全体の内容が分かる資料をポートフォリオに含めること。上記以外のフォーマット（デジタルデータや他規格のテープなど）の映像作品を持参する場合は，パソコンやデッキなど再生機を持参すること。
イラストレーション	<ol style="list-style-type: none"> 1 自己の作品資料（著書，論文，作品写真等） 2 自己の作品
映像	<ol style="list-style-type: none"> 1 自己の作品資料（著書，論文，作品写真等） ポートフォリオにまとめたものを持参すること。 2 自己の作品 映像作品を持参する場合は，DVD方式で3分程度の完成作品，又は3分以内の短縮版とする。また，作品の内容を簡潔にまとめた文章も別途持参すること。

令和6年度 北海道教育大学編入学試験実施状況

課程	校名	専攻・分野	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数		
教員養成課程	札幌校	特別支援教育専攻	3	3	0	0		
		言語・社会教育専攻	国語教育分野	0	0	0	0	
			社会科教育分野	0	0	0	0	
			英語教育分野	0	0	0	0	
			計	0	0	0	0	
		理数教育専攻	算数・数学教育分野	0	0	0	0	
			計	0	0	0	0	
		生活創造教育専攻	総合技術教育分野	1	1	1	1	
		芸術体育教育専攻	音楽教育分野	0	0	0	0	
			保健体育教育分野	0	0	0	0	
	計		0	0	0	0		
	合計		4	4	1	1		
	旭川校	教育発達専攻		1	1	0	0	
		国語教育専攻（書道分野を含む）		1	1	1	1	
		英語教育専攻		1	1	0	0	
		社会科教育専攻		1	1	0	0	
		数学教育専攻		1	1	0	0	
		理科教育専攻		0	0	0	0	
		芸術・保健体育教育専攻	美術分野		0	0	0	0
			保健体育分野		0	0	0	0
計				0	0	0	0	
合計			5	5	1	1		
釧路校	地域学校教育実践専攻		9	8	5	3		
	合計		9	8	5	3		

課程	校名	専攻・分野	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
国際地域学科	函館校	地域協働専攻	国際協働グループ	1	1	0	0
			地域政策グループ	1	1	1	1
		計	2	2	1	1	
	合計		2	2	1	1	
芸術・スポーツ文化学科	岩見沢校	芸術・スポーツビジネス専攻	0	0	0	0	
		音楽文化専攻	0	0	0	0	
		美術文化専攻	1	1	0	0	
		スポーツ文化専攻	スポーツ・コーチング科学コース	0	0	0	0
			アウトドア・ライフコース	0	0	0	0
			計	1	1	0	0
		合計		1	1	0	0

全学合計	21	20	8	6
------	----	----	---	---

※募集人員はすべて若干人

※募集した専攻・分野は今年度募集する専攻・分野と異なる場合があります。

北海道教育大学入学検定料の特別措置に関する規則

制 定 令和2年3月31日
令和元年規則第40号

(趣旨)

第1条 この規則は、災害により被災した者の経済的負担を軽減し、進学機会を確保するため、北海道教育大学（以下「本学」という。）の学部、大学院又は養護教諭特別別科の入学者選抜試験（研究生、科目等履修生又は聴講生に係るものを除く。）の検定料（以下「入学検定料」という。）に対する特別措置を定める。

(特別措置)

第2条 次の各号のいずれかに該当する入学志願者であって学長の許可を受けた者に対しては、納入された入学検定料の全額（ただし、第6号に掲げる者については、学長が別に定める額）を返還する。

- (1) 東日本大震災により自ら又は生計維持者（以下「入学志願者等」という。）の自宅家屋が全壊（流失を含む。）、大規模半壊又は半壊した者
- (2) 東日本大震災により生計維持者が死亡し、又は行方不明となっている者
- (3) 東日本大震災における福島第一原子力発電所の事故により、同事故発生時における入学志願者等の居住地が、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者
- (4) 次条の提出期限の日から過去3年以内に発生した次に掲げる災害により、入学志願者等の自宅家屋が全壊（流失を含む。）、大規模半壊又は半壊した者
 - ア 入学志願者等の居住地に災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用された災害
 - イ 激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（昭和37年法律第150号）に基づき激甚災害に指定された災害
- (5) 生計維持者が、前号の災害により死亡し、又は行方不明となっている者
- (6) 学長が特に指定した者

(申請手続)

第3条 前条の許可の申請は、許可を受けようとする入学志願者が、次の各号に掲げる書類又は写し（ただし、前条第6号に該当する者に係る書類については、別に定める。）を添えて、別に大学が定める提出期限の日までに、入学検定料返還許可申請書（別記様式）を学長に提出することにより行うものとする。

- (1) 前条第1号又は第4号に該当する場合 災証明書
- (2) 前条第2号又は第5号に該当する場合 生計維持者の死亡又は行方不明を証明する書類
- (3) 前条第3号に該当する場合 被災証明書

(許可の取消し)

第4条 前条により提出された書面に虚偽の記載があり、又は重要な事実の記載が欠けていることが判明したときは、学長は、第2条の許可を取り消す。

2 前項により許可を取り消された場合は、返還された入学検定料を改めて納付しなければならない。

(雑則)

第5条 この規則に定めるもののほか、入学検定料に対する特別措置に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、令和2年3月31日から施行する。

なお、本学では上記の規則に基づき、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るために、「東日本大震災」、「令和元年8月大雨」、「令和元年台風第15号」、「令和元年台風第19号」及び「令和2年7月大雨」など、災害救助法等が適用されている地域において被災した入学志願者に、入学検定料返還の特別措置を行っています。詳細は次のURLの【入試に関するお知らせ】に掲載していますので、ご確認いただき、該当する方は申請してください。

本学ホームページURL (<https://www.hokkyodai.ac.jp/exam/>)

「北海道教育大学基金」による奨学金について

本学は、次代を担う子どもたちを教育する優れた教員を養成する「教員養成課程」、国際的視野をもって地域を活性化できる人材を養成する「国際地域学科」及び芸術・スポーツ文化を多面的に追求し、地域活性化に貢献できる人材を養成する「芸術・スポーツ文化学科」の一つの課程と二つの学科を設置しています。人材の養成には、教育体制や教育環境の整備の他に、安心して自ら勉学に励み優れた資質・能力を身につけようとする者に対する財政的な支援策が求められています。

「北海道教育大学基金」は、企業、同窓会、地域の方々、本学教職員などからの寄附金により設立され、その原資及び果実を寄附者の方々の意向に基づき、成績優秀な学生や経済的事由により修学困難な学生に対して奨学金として給付等しています。

詳細は、入学後にお知らせします。

高等教育の修学支援制度（入学料・授業料の減免、給付奨学金）

令和2年4月から国の新しい修学支援制度がはじまり、入学料・授業料の減免（免除又は減額）と給付奨学金（原則返還が不要な奨学金）の2つの支援をあわせて受ける制度となります。

この支援制度は、世帯の収入などの要件とともに、高校や大学の成績だけでなく、明確な進路意識と強い学びの意欲、学修状況等をしっかりと確認した上で学生に対して支援するものです。

※世帯の収入などの要件により、区分に応じて以下のとおり入学料と授業料の免除又は減額と、自宅、自宅外通学の状況により、奨学金が給付されます。

【単位：円】

	入学料減免額	授業料減免額		給付奨学金給付額（月額）	
		（半期分）	（年 額）	自宅生	自宅外生
第Ⅰ区分 （満額の支援）	282,000	267,900	535,800	29,200 (33,300)	66,700
第Ⅱ区分 （2/3の支援）	188,000	178,600	357,200	19,500 (22,200)	44,500
第Ⅲ区分 （1/3の支援）	94,000	89,300	178,600	9,800 (11,100)	22,300
第Ⅳ区分 （1/4の支援）				7,300 (8,400)	16,700

※給付奨学金について、生活保護世帯(受けている扶助の種類を問いません。)で自宅から通学する人及び児童養護施設等から通学する人等は、上表のカッコ内の金額となります。

※第Ⅰ区分：申請者と生計維持者の市町村民税所得割が非課税であること

第Ⅱ区分：申請者と生計維持者の支給額算定基準額の合計が100円以上25,600円未満であること

第Ⅲ区分：申請者と生計維持者の支給額算定基準額の合計が25,600円以上51,300円未満であること

第Ⅳ区分：申請者と生計維持者の支給額算定基準額の合計が51,300円以上～154,500円未満であること

※ふるさと納税、住宅ローン控除等の税額控除等の適用を受けている場合、各区分に該当しない場合があります。

※第Ⅳ区分については、多子世帯（子ども3人以上を扶養する世帯）の学生が対象となります。

※多子世帯（子ども3人以上を扶養する世帯）の学生については、入学料・授業料の無償化の対象となります。

入学料・授業料の徴収猶予制度

経済的理由により、入学料・授業料の納入が困難な場合、徴収猶予する制度があります。

日本学生支援機構奨学金について（貸与奨学金）

本学では、日本学生支援機構奨学生募集について、各キャンパスで周知しています。

◇ 奨学金の種類と募集時期等（2024年度採用者）

奨学金の種類	採用の種類	募集時期	貸与月額	
第一種奨学金 【無利子貸与】	定期採用	4・9月	自 宅	自 宅 外
	緊急採用	随時	2万円・3万円 4万5千円から選択	2万円・3万円・4万円 5万1千円から選択
第二種奨学金 【有利子貸与】	定期採用	4・9月	2万円～12万円から1万円単位で選択	
	緊急採用	随時		
併用貸与	第一種奨学金申込みの学力基準を満たしており、経済的理由があれば、第一種奨学金と第二種奨学金の両方の貸与を受けることができます。			
入学時特別増額貸与	第1学年入学者又は編入学者で条件を満たす者に対して、希望により貸与月額の初回振込時に10～50万円（10万単位）の金額から選択して増額貸与を受けることができます。			

【定期採用】

4月・9月頃に本学の所属キャンパスにおいて申込を受け付けています。

【緊急採用・応急採用】

家計の急変（主たる家計支持者の失職、破産、事故、病気もしくは死亡等。又は火災、風水害等の災害等）によって奨学金を緊急に必要とする者に対して、随時募集を行っています。

◇ 本学の奨学生数

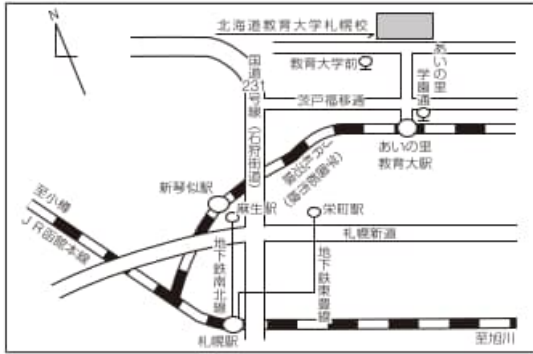
令和6年3月1日現在

校名	学年・種別	1年		2年		3年		4年		計	
		第一種	第二種	第一種	第二種	第一種	第二種	第一種	第二種	第一種	第二種
札幌校	学生数	276人		285人		274人		296人		1131人	
	奨学生数	44人	36人	53人	27人	44人	34人	47人	40人	188人	137人
	%	29.0%		28.1%		28.5%		29.4%		28.7%	
旭川校	学生数	285人		277人		280人		299人		1141人	
	奨学生数	70人	55人	73人	48人	62人	66人	69人	47人	274人	216人
	%	43.9%		43.7%		45.7%		38.8%		42.9%	
釧路校	学生数	180人		188人		189人		187人		744人	
	奨学生数	57人	46人	52人	46人	51人	47人	48人	40人	208人	179人
	%	57.2%		52.1%		51.9%		47.1%		52.0%	
函館校	学生数	297人		294人		291人		317人		1199人	
	奨学生数	83人	71人	77人	53人	79人	50人	83人	67人	322人	241人
	%	51.9%		44.2%		44.3%		47.3%		47.0%	
岩見沢校	学生数	183人		186人		184人		194人		749人	
	奨学生数	31人	36人	32人	43人	36人	41人	27人	36人	126人	156人
	%	36.6%		40.3%		41.8%		32.5%		37.7%	
計	学生数	1221人		1230人		1218人		1293人		4964人	
	奨学生数	285人	244人	287人	217人	272人	238人	274人	230人	1118人	929人
	%	43.3%		41.0%		41.9%		39.0%		41.2%	

(学生数は令和5年10月1日現在)

試験会場位置図

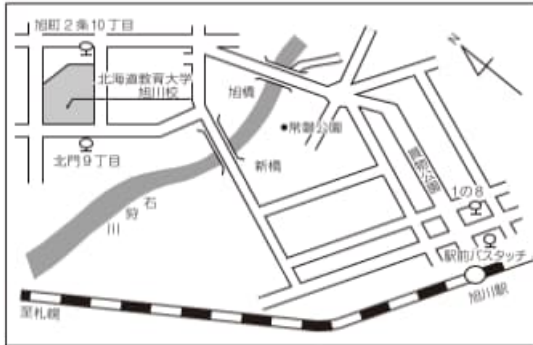
札幌校



名称 北海道教育大学札幌校
所在地 札幌市北区あいの里5条3丁目1番5号
交通案内

- JR「学園都市線」の「あいの里教育大駅」から徒歩約20分(約1.4km)
札幌駅→あいの里教育大駅 約30分
- 地下鉄ーバス
地下鉄南北線の「麻生駅」から中央バス「麻④あいの里教育大線」で約32分、「あいの里4条5丁目」又は「教育大学前」下車、徒歩2分
地下鉄東豊線の「栄町駅」から中央バス「栄②栄町・教育大線」で約27分、「教育大学前」下車、徒歩2分

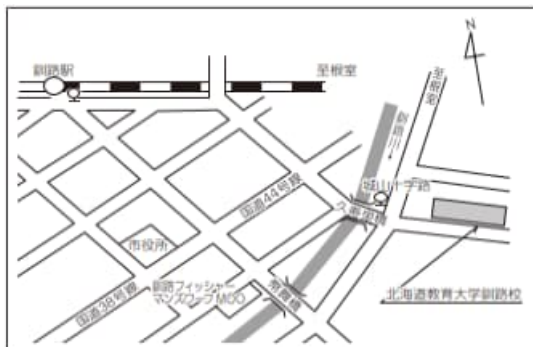
旭川校



名称 北海道教育大学旭川校
所在地 旭川市北門町9丁目
交通案内

- 「JR旭川駅(駅前バスタッチのりば④)」から旭川電気軌道バス(⑤旭町・春光線)で15分、「旭町2条10丁目」下車、徒歩5分
- 「1条通8丁目(1の8のりば⑭)」から旭川電気軌道バス(⑭旭町線)で15分、「旭町2条10丁目」下車、徒歩5分
- 「1条通8丁目(1の8のりば⑭)」から旭川電気軌道バス(②新橋・北門線)で15分、「北門9丁目」下車、徒歩5分

釧路校



名称 北海道教育大学釧路校
所在地 釧路市城山1丁目15番55号
交通案内

- JR「釧路駅」からくしろバス(③武佐線, ⑫別保線)で10分、「城山十字路」下車、徒歩4分

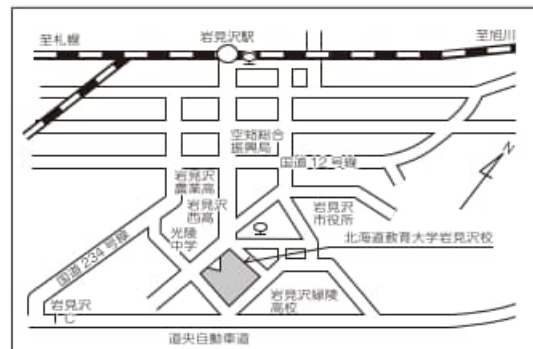
函館校



名称 北海道教育大学函館校
所在地 函館市八幡町1番2号
交通案内

- JR「函館駅」から函館バス(82系統)で約10分、「宮前町」下車、徒歩10分
- JR「函館駅」から函館バス(47系統)で約20分、「教育大通」下車、徒歩10分
- 函館空港より車で約25分

岩見沢校



名称 北海道教育大学岩見沢校
所在地 岩見沢市緑が丘2丁目34番地1
交通案内

- JR「岩見沢駅」から中央バス(かえて団地循環線(東高先回り:系統1), 南町・春日循環線(市役所先回り:系統10), いわみざわ公園線(系統13), 岩見沢栗山線(教大前経由:系統27))で約10分~15分、「教大前」下車、徒歩2分

※ 運行時刻等は、各自でお調べください。